

事業報告書

事業の実施状況報告

(1) 九頭竜川流域下水道運転管理業務受託事業

ア 「九頭竜川流域下水道運転管理業務」の受託契約（平成31年4月1日福井県）

対象施設 九頭竜川浄化センター、中継ポンプ場（竹田川、兵庫川、片川、芦原、春江、北潟）
幹線管渠

業務内容 施設の運転操作および保守点検
施設および設備の小規模補修
施設および設備の警備および清掃
汚泥の処理処分
水質および汚泥等の分析
流入水量の計測

イ 流入水量（令和元年度）

区 分	実 績 水 量	平成30年度実績	前年比
全体流入水量	16,931,740 ^{m³}	17,623,397 ^{m³}	3.9%減
1日平均水量	46,262 ^{m³}	48,283 ^{m³}	4.2%減

ウ 市別流入水量（令和元年度）

	供 用 開 始	流 入 水 量	平成30年度実績
福 井 市	昭和62年6月	2,810,832 ^{m³}	2,887,449 ^{m³}
あ わ ら 市	旧芦原町 昭和59年7月	2,598,256 ^{m³}	2,738,236 ^{m³}
	旧金津町 昭和60年10月	1,886,612 ^{m³}	1,853,118 ^{m³}
	計	4,484,868 ^{m³}	4,591,354 ^{m³}
坂 井 市	旧三国町 昭和57年7月	3,088,477 ^{m³}	3,483,187 ^{m³}
	旧春江町 昭和62年4月	2,880,157 ^{m³}	2,885,640 ^{m³}
	旧丸岡町 平成元年4月	2,574,163 ^{m³}	2,611,663 ^{m³}
	旧坂井町 平成元年4月	1,093,243 ^{m³}	1,164,354 ^{m³}
	計	9,636,040 ^{m³}	10,144,594 ^{m³}
合 計		16,931,740 ^{m³}	17,623,397 ^{m³}

(2) 下水道技術者養成事業

職員の下水道技術者養成および技術力の向上を図るため、計画的に専門研修への参加や日常業務を通じて下水道維持管理技術者の養成を行った。

<参加した主な研修>

- ・ 日本下水道事業団の処理場管理研修 1名
- ・ 日本下水道協会の各種技術研修 9名
- ・ 各種団体の技術講習 4名

県内下水道従事者（官民）を対象に研修会を行った。

- ① 研修名 下水道技術研修会
- ② 開催日 令和元年9月19日
- ③ 場所 九頭竜川浄化センター管理本館 301会議室
- ④ 研修内容 講演「最新の調査機材を用いた維持管理について」
一般財団法人 下水道事業支援センター
下水道アドバイザー 後藤 幸造
見学「下水道維持管理用機材の展示」
- ⑤ 参加者数 50名

(3) 下水道の普及啓発事業

県民に下水道事業に対する認識や正しい知識を深めてもらうため、次の事業を行った。

ア 下水道の日の広報

9月10日の「下水道の日」にあわせて、県内市町・下水道関連団体と連携して、県内一斉にJRの駅およびショッピングセンターで下水道のチラシ等を配り、下水道の環境への役割や必要性を住民にPRした。

- ① 開催日 令和元年9月10日
- ② 参加団体 福井県下水道協会加盟21団体 84名
- ③ チラシ、粗品配布部数 6,020部

イ 施設見学者への下水道のしくみの説明と処理場内の案内

見学者にパンフレットを配布して下水道のしくみを説明し、浄化センター内の案内を行い、下水道知識の普及啓発を行った。

<令和元年度見学者>	学校関係	544名（12小学校 うち1小学校 出前講座）
	一般	176名（夏休み水の探検隊バスツアー86名含む）
	官公庁	17名
	計	737名

・ 県内小学生を対象に施設見学会を行った。

- (ア) 名称 夏休み水の探検隊バスツアー
- (イ) 開催日 令和元年7月31日
- (ウ) 場所 九頭竜川浄化センター、越前松島水族館
- (エ) 参加者数 86名

ウ 浄化センター芝生広場の利用

下水道事業の普及啓発や浄化センターのイメージアップを図るため、浄化センター芝生広場を周辺地域住民の運動施設として利用していただいた。

① 利用期間

平成31年4月1日～令和2年3月31日

② のべ利用者数

8,094名

エ ホームページによる普及啓発

福井県下水道公社ホームページを通して、下水道知識の普及啓発および情報公開を行った。

URL <http://www.fukui-swc.jp/>

(4) 調査研究事業

- ・電力調達に関する調査研究を行った。

① 調査内容

九頭竜川浄化センターの今後の安定した電力供給と維持管理費用の縮減を図るため、電力調達に関する調査研究を行い、試算、問題等の整理を行った。